

ご近所のお医者さん

□
717
□

かわベクリニック院長 川邊正和さん —東大阪市

地域に「ただいま」と言える場所を

私達は、人生の最終段階を自宅で穏やかに過ごせるよう支援する在宅療養支援診療所です。令和5(2023)年の本欄では、「ここにいるといい」と思える「居場所」の大切さをお伝えしました。この2年間、その思いを地域で形にする動き

が、私達東大阪プロジエクトを中

心に着実に広がってきました。

コーヒーを飲みながら世間話や専門職への相談ができる「まちカフェ」は、東大阪市近江堂地区では地域包括支援センター「くつろぎ」と、長田地区で

つながり、支えあう

いにつながっています。

また、「まちの保健室」はカトリック布施教会で毎月開催され、健康相談や血圧測定、がん遺族の語り合い、司法書士による相続・成年後見制度に関する相談など、幅広いニーズに 대응しています。医療や介護にとどまらず、「誰かの力になりたい」と願う人が安心して携われる場として根付いてきました。

さらに、「もしもの時」の思いを大切な人と共有する「人生会議」の普及

にも力を入れています。市内の公民館で講演を行い、命や人生について自然に語り合える地域づくりを進めています。これは、市民の皆さんが自分らしく、豊かに生きることができるよう、という願いから始まりました。

令和6(24)年10月には、「えくなあ E I W A E X P O」を開催しました。医療・福祉・まちづくりに関わる

様々な立場の人が集まり、地域資源を「見え

る化」したことで、多様な交流が生まれました。そこには、「出会うことで人が動き出し、ともに未来を変える」という東大阪プロジエクトのクレド(信条)が息づいていました。

こうした取り組みは、誰か特別な人だけのものではありません。皆さんもぜひ、こうした場に参加してみませんか？ あなたの存在が、地域の未来を動かす力になります。(府医師会介護

・高齢者福祉委員会副委員長)

